



s a k u r a

さくらめえる

m a i l

第 51 号 (21 年度第 1 号)

平成 21 年 4 月 27 日 (月)

さくら幼稚園 園長 片岡 大助
[みどりご園副園長・さくらんぼ園長]

平成 18 年 4 月 18 日発行のさくらめえるで“箸のしつけ”について初めてご家庭に発信しました。日本の伝統文化であり、大切な作法であり、躰のバロメーターでもあるといわれる幼児の箸の使い方が、私自身どうしても気になるようになった事が、箸指導を始めた発端です。箸の指導は、実際に食べている時は難しく、多人数では無理ですので、小人数でスポンジなどを挟むことからの指導が始まりました。幼稚園よりみどりご園の方が早く始まり、先生たちはさまざまな用具を手作りし試行錯誤しながらも、子供達が正しく持てるように小グループ単位で、ご家庭にも協力を呼びかけながら行なってきました。正しい箸の持ち方は、是非幼児期に身に付けてほしい躰のひとつです。...「箸の持ち方は鉛筆の持ち方に通じるから...」「指先の発達には脳の発達に関係するから...」「正しい姿勢で食事するには正しい持ち方が必要...」等々、様々理由はありますが、私が“箸の正しい持ち方の指導を”と保育の中で取り入れることにしたのは、「園と家庭との連携が必要であり、家庭での躰の喚起になればいいな」「箸指導は特に根気と工夫が必要で、先生は園児一人一人への関わりと気づきが大切」という観点からです。今力を入れて取り組んでいる食教育にも関連しますので、箸指導も大切な教育の一環と認識しながら進めております。是非、保育園・幼稚園にいる内に正しい箸の持ち方ができるように、ご理解とご協力をお願いいたします。[躰は、しつづけること(持続・継続)で身に付く、また躰は“つ”の付く年齢まで、いわゆる一つ(1歳)から九つ(9歳)の内になければ身に付かないと言われていました。]

この通信は、園長としての所感や園の方針や様子、ちょっとしたエピソードなどを、園だよりとは違う角度から情報発信したいと始めました。不定期とはなりますが、ご意見・ご感想等お寄せいただければうれしいです。

7月4日(土)に「第1回北宮城英語朗読コンテスト」が大崎市のパレットおおさきで開催されます。3月の卒園式で卒園児が、宮澤賢治の雨二モ負ケズ全文と昔話「PEACH BOY: 桃太郎」の一部を暗誦発表しました。その指導をしてくれた英語講師のKUMI先生から声を掛けられ、幼稚園でも応募することにしました。さくら組が全員で暗誦に取り組み、希望を募ってコンテストに3人1組で3組出場を目標にします。さくら組のサイバードリームによる1日10分の“英語で遊ぼう”の時間と、KUMI先生の英語の時間(月に2~3回)を有効に活用してのチャレンジとなります。表現力も審査対象となります。いかに楽しくネイティブな英語に触れているかが試される良い機会ですし、良い目標にもなるはずです。今年度、年中組は5月の連休明けから、ひよこ組は6月からサイバードリームをスタートさせる予定です。みどりご園は、きりん棟で3・4・5歳児が仲良く1日10分の“英語で遊ぼう”を楽しんでいます。

ゴールデンウィークは、幼稚園や保育園は暦通りですので、子供達は最高でも5連休です。そのスタートの日となる5月2日、2つの行事が重なりました。一つは、1年生招待春のピクニック。もう一つは“ロックシティ佐沼ご利用600万名様大感謝祭ふるさとコンサート”に幼稚園児が参加し踊りを披露することです。私は、ピクニックの引率責任者ですので、踊りの方は主任の順子先生を中心に先生・園児が多数参加します。セントラルコートで午後2時からの開始となりますので、参加される園児の保護者の皆様はもちろん、たくさんの観覧応援をお願いいたします。春のピクニックは、これまで通り栗原市花山村へ行くことになりました。花山青少年自然の家は21年度も利用できませんが、森林科学館や牛淵公園は大丈夫との返事をいただきましたので、昨年合宿を中止にした1年生を連れて行くことにしました。その際に花山青少年自然の家復旧に役立てていただけるようにと、準備していた寄付金をお渡ししたいと申し出ました。あいにく土曜日で休みということでしたので、先方の口座に振り込みました。ずっと気に掛けていましたので、ホッとしましたし、来年の利用開始を心待ちにしたいと思っています。